



こうか
まちかど特派員

むらやま としこ
村山 敏子



日本古来の伝統文化を踊り伝える

今回は、甲賀町の公民館活動として始まり、40年近く生涯学習の一環として仲間づくりをしながら活動されている甲賀民踊の皆さんを取材、その歴史ある活動と民踊の魅力をご紹介します。

日本各地で先人が土と汗の匂いとともに作り育て、今日まで伝えられてきた民謡、それを体で表現し、踊り伝えることを目的にかふか生涯学習館で練習に精進されている甲賀民踊の皆さん。現在19名の会員で、毎週木曜日20時から22時に練習されています。

民踊には、野生的な部分と、健康で躍動的な部分が同居する美しさがあります。野遊び村遊びから生まれた唄や踊りにはどこか懐かしく大衆の心をひきつけ虜にする力があるの



▲熱心に行われる練習の風景

ではないでしょうか。私も例外ではなく、民踊を体感していると、知らず知らずのうちにリズムを取りウキウキした気分になります。

しなやかな踊り、実際にあんなふうに踊れたらどんなに気持ちがいいことでしょうか。私自身も踊った経験がありますが、体の動き、目線や表情で感情を込めて民踊の本意を伝えることは簡単なことではありません。

会員の皆さんは勤めや家事、介護、子育てなどの合い間に時間を見つけて参加されています。練習に練習を重ね一つの形を身につけて発表へいたる努力のプロセスは、好きなことに向かってみんなが一つになりやり遂げる素晴らしいものです。

皆さんは、いろんなイベントや各種大会などに参加し、日頃の練習の成果を披露されています。また、老人ホームやデイサービスの慰問、敬老会行事のボランティア活動等に積極的に参加され、踊りの楽しさを多くの方に伝えられています。地元のスイリよう節保存会にも所属され、甲賀町内の3小学校や甲賀荘、櫛

野寺などでスイリよう節も披露、伝統文化の伝承にも一役買われています。他にも北海道の鯨場音頭から沖縄県の谷茶前まで全国に伝わる踊りをマスターされるなどその活動は多岐にわたります。

活動が長く続いている理由をお聞きすると、

- ・ 好きが一番
 - ・ 交流ができる
 - ・ 1年に2回講習会があり新しい踊りが覚えられる
 - ・ ボランティアで行くと喜んでいただけ
 - ・ 日本の伝統が伝えられる
 - ・ 大勢で踊るので隊型を変えたり合わせる難しさはあるが、合ったときの美しさが気持ちいい
 - ・ 踊りきったあとの充実感
 - ・ 頑張ればだれでもできる
 - ・ 健康によい
 - ・ 華やかな衣装が着られる
- など実に多くの魅力を話していただきました。そして「何よりも楽しいです。」とおっしゃっていたのが印象的でした。
- 健康的で見る人も踊っている人も

▼大津市で行われた大会での発表



▲老人クラブ運動会では、地域の皆さんと共演

楽しく豊かになれる民踊、皆さんも一度体験されてはいかがでしょう。民踊の魅力にきつとはまってまいりますよ。